

2013年8月6日

Ref. No. 250802

社団法人日本皮膚科学会内
ロドデノール含有化粧品に関する特別委員会
委員長 松永佳世子 殿

特定非営利活動法人動物実験の廃止を求める会 (J A V A)

理事長 長谷川裕

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29番31号 清桜404

TEL. 03-5456-9311 FAX. 03-5456-1011



ロドデノール含有化粧品の安全性検証に際する

動物実験回避を求める要望書

冠省 当会 動物実験の廃止を求める会 (通称J A V A; ジャバ) は、全国に約1500人の会員を擁する特定非常利活動法人です。国連顧問団体や科学者・医学者等専門家で構成された団体を含む、世界100以上の動物保護団体と連携をとりながら、動物実験の廃止に向けて、活発な運動を展開しています。

さて、この度、株式会社カネボウ化粧品が開発したロドデノール含有化粧品の被害者対策として、実態調査、治療方法等を確立するために、貴委員会が立ち上げられたということが報道されました。

信頼し、使い続けたカネボウ化粧品によって、皮膚障害を被ってしまった被害者の方々への早期救済が強く求められるところではありますが、当会といたしましては、同時に、その事故原因の調査・究明のために、新たに動物実験が行われるのではないかと強い懸念を抱いております。

ロドデノール及びそれを含む完成品については、平成18年(2006年)7月に、株式会社カネボウ化粧品より、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に対して、医薬部外品区分1として承認申請がなされています。当時の資料では、安全性試験

はもちろんのこと、有用性試験においても動物実験が行われ、動物における白斑非形成の確認試験も実施されています。これら動物実験によって安全と判断され承認されたわけですが、今回の白斑事故が発生したことで、「動物実験は人体への安全性を担保するものではない」ということが明らかになりました。それにもかかわらず、もし、今後の事故の原因調査・究明等において、あらためて動物実験が行われるということになれば、同じ過ちを繰り返すことになると言えます。

また、今春、当会を含む複数の動物保護団体の協力のもと動物実験を行っていない化粧品会社・株式会社ラッシュジャパンが実施した「化粧品の動物実験に関する意識調査¹」によれば、「動物実験が必要なほど危険な成分を化粧品に使わないでほしい」と回答した人は88.8%に上りました。また、「化粧品の新規原料開発は、動物実験代替法が確立されるまで待ってもよい」と回答した人は77.7%に上りました。

これらの結果を本件事故に当てはめて言えることは、事故究明のためとは言え、これからさらに動物実験を行うことを消費者は求めていない、ということです。

つきましては、ここに以下の要望をいたします。

1. 本件事故原因の調査・究明にあたって、あらたな動物実験を行わない

ご多忙の恐れ縮ですが、上記の要望につきまして、8月22日までに、回答を書面にてお寄せくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本件要望については、当会ホームページ、ソーシャルネットワークサービス等インターネット上で公開いたしますので、予めご了承ください。

不-

写し)

厚生労働大臣 田村憲久殿

厚生労働事務次官 村木厚子殿

内閣府特命担当大臣（消費者担当）森まさこ殿

消費者庁長官 阿南久殿

¹調査概要

調査期間：2013年2月25日～2月27日

調査方法：民間調査会社によるインターネット調査

調査対象：15～69歳 男女3,355名（性別、年代別で人口構成比に準拠して実施）

※この調査における化粧品には医薬部外品も含まれる

<http://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000024.000006160.html>

添付資料：当会の紹介資料